

学年が上がるって、素晴らしい!!

校 長 武井 正明

子どもは正直だ。昨日の昼休み、温かさが嬉しくて中庭に出てきた笑顔の吉中生達を見ていると、学校っていいなあと改めて思う。毎日生活している以上、喜怒哀楽いろんなことがあるだろう。でも、こうやって笑顔ですごせる時間があるというのは素晴らしいこと。ずっとこの平和が続いてほしい、と心から願う。



午前、私の大先輩が来校してくださった。美術の大家。ぜひ見ていただきたい作品があった。校長室の入口脇の入学式をイメージした、あの一枚だ。

「これ、吉中の卒業生の?」「いいえ、2年生です」「ホントに?これは素晴らしい作品だねえ…。自転車のハンドルの拳がなければ普通の絵。ここに拳が入るからこの絵に意志が籠ってくるんだよね。この舞う桜も、希望が溢れてくるようだ。色遣いも見事だねえ」

本人に聞かせてやりたかった。私は自分が褒められているような気分になった。



そして今朝。桜も一部葉桜になって雨に濡れている。

そこを、雨具を着た、おびただしい数の自転車が吉中に向かう。

生徒玄関で迎える。本当にみんな、今日も無事に来てくれました。

そして、いつもの彼が私に元気に「校長先生、おはようございます!」

彼は天気がどうだろうと、全く関係ない。いつもキラキラした円い眼で、カラッと明るく挨拶してくれる。だから、周りの人たちから愛される。朝から機嫌がいいこと。実はとっても大切な事なのです。

その彼が「校長先生、じゃあね」と言って、階段をぴよんぴよん上がっていった。

そうだ。彼はもう最上級生、3年生になったんだ。

階が上がるとは、そういうこと。進級するってことは、素晴らしい。

背伸びしてみる、いいきっかけじゃないか。思いっきり背伸びして見ろ!!

君たちのドラマは、まだ始まったばかりだ。